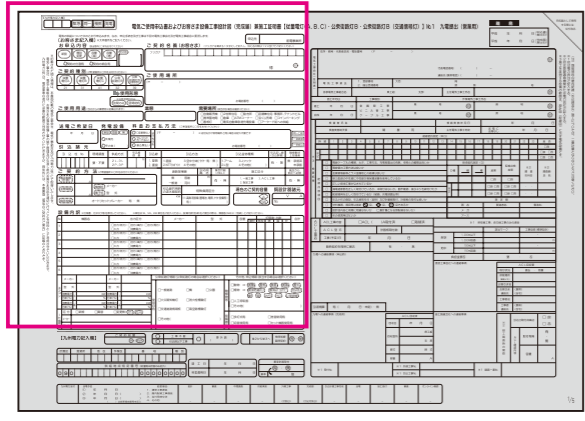


電気ご使用申込書およびお客さま設備工事設計図（完成届）兼施工証明書【従量電灯（A・B・C）・公衆街路灯 B・公衆街路灯 B（交通信号灯）】の記入方法

〔ご記入にあたって〕
記入例を参考に、太枠箇所へのご記入をお願いいたします。

（申込書左面の記入方法）



契約の分割
1つの契約を2つの契約に変更する場合は○で囲んでください。契約の分割を行う際は、二重計量とならないよう屋内配線工事をお願いします。

契約の統合
2つの契約を1つの契約へ変更する場合は○で囲んでください。

ご使用用途
お客さまへお届けする請求書などに記載される項目のため、お客さまの希望する内容をご記入ください。

業態
電気使用の業態を下表よりご記入ください。

業態	新聞出版	農業	コンビニエンスストア	通信
	運輸	学校・研究所	医療保険	官公署
	事務所・ビル	劇場・娯楽場	百貨店・商店	旅館・飲料店
	住宅用	その他		

需要場所
該当しない場合は選択不要です。お申込みの内容により、営業所から連絡させていただく場合があります。

送電ご希望日
送電希望日をご記入ください。
◆お客さまがご希望された送電日に電気をお届けできるよう準備を進めてまいります。電柱・電線の改修工事が必要な場合など工事の内容によっては、ご希望の日よりも工事期間等を要する場合がありますので、お早めにお申込みいただくようご理解ご協力をお願いします。

発電設備
発電設備の申込書との突合せに必要なため、「新規/既設/無」を○で囲み、発電の種類をチェックまたはご記入ください。

ご契約方法
ご契約方法を○で囲み、主開閉器の場合は種類、容量・メーカー・型式をご記入ください。
◆主開閉器契約の場合、機械式、電子式のいずれの場合もメーカー及び型式をご記入ください。
なお、主開閉器（電子式）が以下に該当する場合は「九電への連絡事項（申込時）」欄に該当する内容をご記入ください。
①中古品
②ブレーカーボックス（フタ）を開けたもの
③その他市販品に加工を施しているもの

ご契約名義
電気契約のご名義は「カタカナ」での表記となります。間違いのないよう十分ご確認のうえ、ご記入ください。
◆電気契約者印は本人からの申込みであることを確認するため押印ください。

九州電力記入欄

電気ご使用申込書およびお客さま設備工事設計図（完成届）兼施工証明書【従量電灯（A・B・C）・公衆街路灯 B・公衆街路灯 B（交通信号灯）】

【お客さま記入欄】※太枠箇所をご記入ください。
お申込内容（該当箇所○印をお付けください）

ご契約名義（お客さま）
フリガナ キュウテン ハナコ
九電花子様

ご使用場所
〒810-0720 福岡市中央区渡辺通2-1-82
お電話番号 092(123)4567

ご契約種別
従量電灯A 21 従量電灯B 31 従量電灯C 41 公衆街路灯B 32 公衆街路灯B(交通信号灯) 39

ご使用用途
住宅

送電ご希望日
21年7月22日

発電設備
新設/既設/無

料金お支払い方法
口座振替/クレジット/カード/現金/その他

引込諸元
引込柱 1 引込方法 2 引込金物種類 3 引込距離 4 引込高さ 5 引込線種類 6 引込線径 7 引込線色 8 引込線径 9

ご契約方法
電圧制限(計器) 60 A
主開閉器 機械式/電子式
発電設備 オートリセットブレーカー 有・無

設備内訳
機器名、出力区分、メーカー、型式、容量、台数は、電気料金(基本料金)のもととなる契約容量を確定するため、重要な項目であり、以下の点に注意してご記入ください。
◆使用される機器については必ず仕様書・カタログ等を添付ください。なお、仕様書等がない場合は、機器自体に記載している定格銘板等の写真を添付ください。また、機器出力容量の記入を誤ると、電気料金の誤りにつながりますのでご注意ください。

No.	機器名	出力区分	メーカー	型式	容量	単位	灯数・台数	計	合計
1	IH	出力(低力) 出力(高力) 出力(馬力)			4.0	kW	1	1	
2	エアコン	出力(低力) 出力(高力) 出力(馬力)			2.5	kW	1	1	

ご使用場所
番地まで必ずご記入ください。また、電話番号は必ずご記入ください。

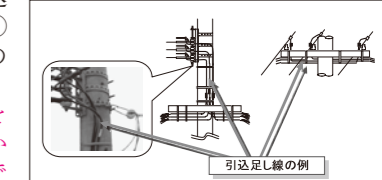
料金お支払い方法
電気料金の支払方法を選択してください。「口座振替払い」を希望される場合は、受付時に他の電気料金が既に振替払いされている口座があるかなどを確認させていただきますので、事前にお客さまへ確認をお願いします。
なお、新設時にいずれも選択がなければ振込票を発送することになります。
◆郵便物の送付先が使用場所と異なる場合には必ず送付先住所をご記入ください。

引込諸元
①引込柱番号をご記入ください。
◆引込柱Noで送電に必要な供給設備の空き容量や、現場の位置などを確認しますので、正しくご記入ください。
②当社の現場調査が必要な場合は「要」にチェックし、必要な理由を「九電への連絡事項」欄にご記入ください。
③以下で供給方式を確認して○で囲んでください。

単相2線式100V	2L	単相2線式200V	2P
単相3線式100V	3L	3相3線式200V	3P

④引込柱から引込口までの距離をご記入ください。
◆100mを越える場合は「99」と記入し、「九電への連絡事項」欄におよその距離をご記入ください。
⑤現行または新規引込を引込柱より直接引込む場合は「1.単独」、その他は「2.接続」を○で囲んでください。
◆引込柱からNTT柱を経由して直接引込む場合は「1.単独」を○で囲んでください。
⑥引込方法を○で囲んでください。空中分岐の場合は、ワイヤーの有無を○で囲んでください。
◆「4.その他」の場合は、()へご記入ください。
⑦引込金物種類を○で囲んでください。
◆「4.その他」の場合は、()へご記入ください。

⑧引込柱に引込足し線（引込幹線）があるか、有無を○で囲んでください。（不明の場合は、記入不要です。）
◆引込足し線とは引込線を接続するため、低圧線から分岐した電線のことで



⑨隣接敷地の上空通過の有無、通過がある場合は、上空を通過するお客さまの承諾をいただいているかを○で囲んでください。
⑩引込線の道路（国道、一般道）横断、河川横断の有無を○で囲んでください。
◆国道、河川を横断する場合は、官庁への占用申請に時間を要し、送電までに時間を要する場合がありますので、事前に配電担当Gまでご相談ください。

⑪引込口取付点の高さをご記入ください。
【参考】道路等横断する引込線は、地上高5m以上の確保が必要
⑫アパート、マンション等で、複数のお客さまの計量器を同一箇所へ設置される場合の有無を○で囲んでください。
⑬該当する施工区分を○で囲んでください。
1. 一般工事：指定工事、ACL工事以外の工事
2. 指定工事：「配線指定工事契約」に基づき屋内電気工事に伴う低圧引込線、計器、NTS工事を行うもの
3. ACL工事：「電流制限器工事に関する協定書」に基づき屋内電気工事に伴うACL新設、容量変更工事を行うもの
⑭高圧契約から低圧契約への変更有無を○で囲んでください。
⑮電灯の容量変更で電灯用と温水器用の引込線を共用している場合に限り温水器の契約容量をkW単位でご記入ください。
⑯高負荷設備（負荷設備の全負荷が継続して稼働する設備や定格電流以上の最大電流が一定時間流れる設備）が有る場合は、設置する設備を()へご記入ください。

◆巨長や引込方法など引込ルートに関する項目の記入誤りや未記入箇所があると、引込工事が遅延する可能性がありますので正しくご記入ください。

IH情報
新規・買替
オール電化住宅を把握するために、使用されるIH機器の情報が必要なことから、IH機器の区分・メーカー名・型式をご記入ください。
変更無
現在ご使用している設備（IH・ガス）を○で囲んでください。

設備内訳
機器名、出力区分、メーカー、型式、容量、台数は、電気料金(基本料金)のもととなる契約容量を確定するため、重要な項目であり、以下の点に注意してご記入ください。
◆使用される機器については必ず仕様書・カタログ等を添付ください。なお、仕様書等がない場合は、機器自体に記載している定格銘板等の写真を添付ください。また、機器出力容量の記入を誤ると、電気料金の誤りにつながりますのでご注意ください。

その他、申込情報
動植物等
該当しない場合は選択不要です。
◆動植物等に関連する設備を設置される場合は、お客さま側での停電時の設備対策（非常用発電機、停電警報装置等）を講じていただくようお願いしております。
◆その他関連する設備がある場合は、「その他」()に設備の用途をご記入ください。

エアコンについて
エアコンについては、エアコン記入枠にもメーカー、型式、消費電力、力率をご記入ください。なお、型式は、室内機、室外機の組合せのセット型式をご記入ください。

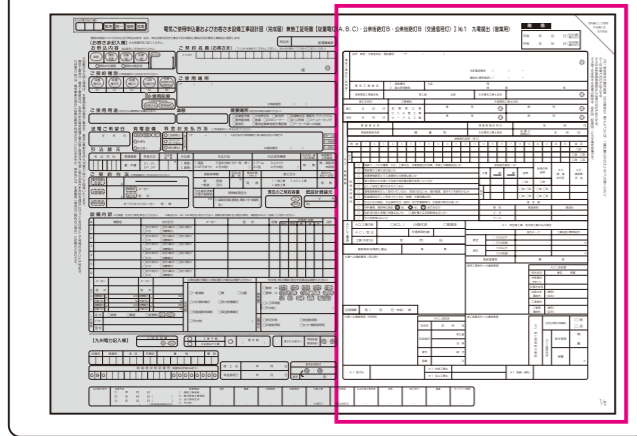
機器名が不足する場合は、別様式「設備内訳(別紙)」をご提出ください。
既設設備についても必ずご記入ください。

電気ご使用申込書およびお客さま設備工事設計図（完成届）兼施工証明書【従量電灯（A.B.C）・公衆街路灯 B・公衆街路灯 B（交通信号灯）】の記入方法

〔ご記入にあたって〕

記入例を参考に、太枠箇所へのご記入をお願いいたします。

（申込書右面の記入方法）



電気工事会社記入欄

- ①工事を施工した工事会社の情報を記入し、押印してください。
◆固定電話だけではつながらないことがあるので、携帯電話番号を記入し、九電への連絡事項欄等に担当者名をご記入ください。
- ②経済産業大臣または県知事に登録した番号をご記入ください。
(例)福岡県130011号
- ③代行申請を依頼した電気工事組合名をご記入ください。
- ④電気工事業法第19条に定める主任電気工事士の氏名を記入し押印してください。
- ⑤工事の着工予定および完成年月日をご記入ください。
- ⑥該当する工事種別を○で囲んでください。
- ⑦工事を施工した電気工事士の免状番号、氏名を記入し押印してください。

ACL工事店記入欄

ACL工事店は、当てはまる事項をチェックし、空欄に必要事項をご記入ください。

臨時契約を同時に撤去欄

常時分引込線工事と同時に撤去する臨時契約の有無を○で囲んでください。

九電への連絡事項

その他の連絡事項などをご記入ください。
(例) ・引込点の選定などで九電と立会が必要な場合
・お客さま不在時の連絡先

電気料金の引渡精算 記入欄

引渡精算の有無を○で囲んでください。
◆「有」の場合は()に日付をご記入もしくは、未定を○で囲んでください。

(A.B.C)・公衆街路灯B・公衆街路灯B(交通信号灯) No.1 九電提出(営業用)

離島

平成 年 月 日 (申込書提出日)
平成 年 月 日 (完成届提出日)

住所・商号・代表者氏名・電話番号 (〒 814-0015) 代表 田中一郎
福岡電気工事店 代表電話番号 (092) 765-3456
連絡先(携帯電話) (090) 2341-6752

電気工事業法 ①登録番号 大臣 福岡 局 第 130011 号
2.届出受理番号

持参電気工事組合名 ③ 福岡 県工組 福岡 支部 主任電気工事士氏名 ④ 田中一郎

施工年月日 ⑤ 施工平成21年 9月 20日 ⑥ 工事種別 配管工事 ⑦ 福岡 県 140022 号 鈴木五郎 福岡 県 150033 号 佐々木修
完成平成21年 9月 29日

検査者氏名 ⑧ 田中一郎 検査実施年月日 ⑨ 平成21年 9月 29日
検査実施時天候 ⑩ (晴) 曇 雨 主任電気工事士判定 ⑪ 送電に支障なし 平成21年 9月 29日

絶縁抵抗測定 (MΩ)																						
幹線	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
100	100	100	100	100	100	100																

※14 電線ケーブルの種類、太さ、工事方法、充電部露出の有無、他物との離隔は良いか
 電線管の工事方法は良いか
 金属管機器等とラスタ金属板との絶縁は良いか
 単三配線の中性線に中性線欠相保護装置を使用しているか
 正しい接地工事がなされているか
 漏電遮断器を正しく取付けているか、未取付はないか、動作確認、端子ネジを締付けたか
 配線器具を正しく取付けているか(破壊、充電部露出等)
 引込小柱の施設、引込線取付点(金物)及び計量器取付、計器板の取付は良いか
 材料機器、器具等は指定品、品、品、品であるか
 設計図内容と現場に相違はないか(二重計量となる誤配線はないか)
 その他異常はないか

接地抵抗測定 (Ω) ⑮ 結果 ⑯ 配線点検結果 ⑰ 測定器
 ※2 調査年月日 ※2 調査員氏名
 器名 製造者名 製造No.
 メガ ムサシ 3090982
 アース ムサシ 3090766

ACL工事内容 ACL ()A取付済 取替済
 ACL型式 計器板取付数
 工事(予定)日 年 月 日
 架空 1,000m以下 該当マーク 工事部長(標準設計)
 1,000m超過 m
 地中 150m以下
 150m超過 m

九電への連絡事項(申込時)
 現場調査要の理由(樹木回避に伴い、空中分岐が必要だが、ワイヤー無しのため)

九電への連絡事項(完成時)
 引渡精算 有() 月 日・未定)・(無)

ACL回収済
 回収日 年 月 日
 回収場所 県工組 支部
 様式 線式
 容量 A

竣工調査時の確認
 引込口取付点高さ 良 否
 取付有無 有・無
 容量 A

※1 受付No. ※1 外線工事No. ※1 調査一連No.
 ※1 引込工事No.

完成届 引込計器工事完成 送電 竣工受付 審査 オンライン確認
 引込付託日

工事が完了し完成届として九電に提出する際にお切り取りください。

(申込)九電に申し込みした年月日をご記入ください。
(完成)九電に完成届けとして提出した年月日をご記入ください。

検査結果
 ⑧工事完了後、絶縁抵抗測定とその良否判定、接地抵抗測定とその良否判定および配線点検を実施した電気工事士の氏名をご記入ください。
 ⑨検査を実施した年月日をご記入ください。
 ⑩検査を実施した年月日の天候で該当するものを○で囲んでください。
 ⑪主任電気工事士が絶縁抵抗測定とその良否判定、接地抵抗測定とその良否判定および配線点検を実施し、送電に支障ないと認めた日をご記入ください。
 ⑫絶縁抵抗の実測値をご記入ください。
 幹線は分岐回路を全部投入して測定してください。
 ⑬絶縁抵抗測定の結果、良の場合は□にチェックしてください。不良の場合は、手直しを実施した後に再測定を行い、良になった後□にチェックしてください。
 ⑭項目について点検し、不良箇所があった場合は手直しを行った後□にチェックしてください。
 ⑮機械、器具の鉄台、金属製外箱および鉄わくなどの接地抵抗値をご記入ください。
 (補足)接地抵抗値は、内線規程1編3章1350節接地をご参照ください。
 接地抵抗測定の結果、良の場合は□にチェックしてください。不良の場合は、手直しを実施した後に再測定を行い、良になった後□にチェックしてください。
 ⑯配線点検の結果、良の場合は□にチェックしてください。不良の場合は、手直しを実施した後に再点検を行い、良になった後□にチェックしてください。
 ⑰検査に使用した絶縁抵抗計の製造者名、番号をご記入ください。
 ⑱検査に使用した接地抵抗計の製造者名、番号をご記入ください。

◆竣工調査等で必要な項目のためご記入ください。